

実施計画事業名		学校施設維持管理事業		評価対象年度	平成 22 年度				
評価担当部署		教育部 学校教育課		課長(主幹)名	青山 等				
総合計画体系	分野	1	教育・文化						
	政策	2	時代に即した学校教育の推進						
	施策	3	社会の変化に対応した教育環境を整備します						
	関連施策								
現状と課題	<p>①特に小学校施設の老朽化により、改善の必要な箇所が多い。また、学校プールについては、特に郡部で児童生徒数の減少により利用者が減少している。(統廃合について、水夢館の使用について)</p> <p>②学校遊具は設置後数十年経過したものが多く、老朽化により劣化も目立ち計画的な改修または更新が求められる。</p> <p>③消防設備は校舎建築後に設備の更新をしていないため、老朽化したものから年次計画を立てて設備更新が必要である。</p>								
目的	学校施設を適正に維持管理することにより、児童・生徒がよりよい環境の中で学習できる								
5ヶ年開の	<p>①学校施設の維持修繕……特に小学校施設の老朽化により、改善の必要な箇所が多い。稚内市立小中学校再編方針及び実施計画に基づき緊急性の高いものから、年次的に改善を行う。</p> <p>②学校プール……3施設のうち、2施設(天北・勇知地区)は、直営で管理運営を行っている。また、潮見が丘(H20と21は、大規模改修が必要となったため休止)については委託で行う。</p> <p>③用務員の技能を生かし、直営による維持管理の強化を行う。</p>								
成果指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度		
	学校施設修繕事業達成率		%		目標	100	100	100	
説明	修繕実施箇所(小中学校合計) / 修繕要望箇所(小中学校合計) × 100				実績	91.1	94.4		
活動指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度		
	用務員による修繕実施率		箇所		目標	60	60	60	
	説明	用務員修繕実施箇所(小中学校合計) / 修繕計画箇所(小中学校合計) × 100				実績	41.7	54.7	
	学校プールの利用日数(延べ)		日		目標	210	210	210	
	説明	各学校プールを利用した日数(延べ)				実績	110	191	
	学校プールの延べ利用者数		人		目標	4,295	5,000	5,000	
	説明	各学校プールを利用した人数(延べ)				実績	868	5,806	
	説明					目標	-	-	-
事業費の実績			単位	21年度 (決算)	22年度 (評価年度決算見込)	23年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	38,747	23,466	23,818			
	国庫支出金		千円	23,937	0	0			
	道支出金		千円	0	0	0			
	起債		千円	0	0	0			
	その他		千円	0	0	0			
	一般財源		千円	14,810	23,466	23,818			
	この事業にかかる職員数		人/年	0.91	0.74	0.74			
	人件費(B)		千円	6,303	5,025	5,025			
計(A+B)		千円	45,050	28,491	28,843				
状況変化	<p>実施計画当初(平成21年～)からの状況変化</p> <p>学校プール整備事業は、平成21年度の経済危機対策交付金での事業であり、平成22年度は事業費減となる。</p> <p>プール利用日数 3プール×70日=210日の設定に対し、天北40日(天候不良のため)、勇知70日、潮小休止であった。平成23年度より、学校プール管理事業と学校プール整備事業を統合し学校プール維持管理事業とする。</p>								

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 学校維持管理事業は、校舎の老朽化により突発的な修繕が多いため、修繕計画通りに進まないのが現状である。

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--